

井ノロチーム

松岡豊 医師（国立病院機構災害医療センター）が
日本脂質栄養学会第 19 回大会において大塚賞を受賞

脂質栄養学の臨床研究に貢献した国内の研究者に授与される大塚賞の平成 22 年の受賞者に、井ノロチーム・松岡グループ（研究課題「不飽和脂肪酸による PTSD 予防法の開発」）の松岡豊・国立病院機構災害医療センター医師（国立精神・神経医療研究センター室長）が選ばれました。松岡医師らは、青魚などに含まれるオメガ 3 系脂肪酸が海馬の神経新生を活性化させることと、井ノロ馨教授らが発見した海馬における神経新生の程度が恐怖記憶の脳内処理にかかわることに着目し、オメガ 3 系脂肪酸摂取によって海馬の神経新生を活性化させることで、海馬依存性の恐怖記憶が減弱し、PTSD 予防に働くのではないかと仮説を立てました。このたび松岡医師は、「青魚に含まれるオメガ 3 系脂肪酸に PTSD 予防効果の可能性があるとするオープン試験を世界に先駆けて実施したこと」が評価されて、受賞にいたりました。

平成 22 年 9 月 3 日(金)、愛知県犬山市で開催された日本脂質栄養学会第 19 回大会において授与式および受賞講演が執り行われました。

現在進行中の二重盲検ランダム化比較試験において有効性が実証されれば、オメガ 3 系脂肪酸を多く含む青魚をとるという食習慣を取り入れることにより、PTSD の予防対策に役立つことが期待されます。